

医療リベラルアーツ 責任者：微生物学講座・分子微生物学分野 佐々木 実教授
生理学講座・病態生理学分野 佐原 資謹教授

第3学年 前期・後期

講義
前期 10.5時間
後期 7.5時間

教育成果（アウトカム）

他領域で活躍している講師による講義・演習を通して、多様な価値観を持つ他者を理解し、広い視野に立った物の見方や考え方が形成される。歯科医療に必要な専門英語を習得することにより、医療に必要なコミュニケーションスキルの向上と構想力が養われる。（ディプロマポリシー：1, 4, 6, 7）

事前学修内容及び事前学習時間（30分）

ユニット1～7については、シラバスに記載されている次回の授業内容を確認し、一般書やインターネット等を用いて事前学修（予習・復習）を行うこと。各授業に対する事前学修の時間は最低30分を要する。事前学習内容をノートにまとめ当日持参すること。

ユニット8～12については、各回到達目標の内容に関し教科書を用いて調べるものとし、各回最低30分を要する。WebClassにテキストの音声ファイルを公開する。適宜、事前学習内容の発表時間を設ける。

講義日程

ユニット1～8の講義においてはディスカッション形式を取り入れて行う。

ユニット9～11は小人数のグループ学習形式により行う。

月 日	担当者	ユニット名 内 容	到達目標 [コア・カリキュラム]
4月12日 (金) 3限	川村 央隆 (岩手県国際交 流協会)	ユニット1 多文化共生 外国人患者への対応方法 を習得する。	1. 多文化共生社会の定義を述べる。 2. 異なる価値観、異文化理解の必要性を 述べる。 3. 外国人患者が来た時の対応方法を述べ る。 [A-4-1)-①、②]
4月19日 (金) 3限	島貫 亮一 (トミーインタ ーナショナル)	ユニット2 矯正歯科材料の開発から 販売まで 歯科材料の製品化までの 流れを理解する。	1. 歯科材料のマーケティングを説明する。 2. 製品の企画、開発、販売の流れを述べ る。 3. 企業の分業体制を説明できる。 4. 企業がグローバル化する背景を述べ る。 [A-2-2)-①、② D-1-①、⑤、⑥]
4月26日 (金) 3限	小野寺 憲一 (病院長顧問)	ユニット3 モンスターペイシエント への対応 患者とのトラブル防止及 び回避方法を習得する。	1. 医療と悪質クレームの関係、およびクレ ームの例を述べる。 2. モンスターペイシエントのタイプを列 挙する。 3. 診療時に暴力事案が発生した場合の処 理要領を述べる。 [A-4-2)-①～⑦]

月 日	担当者	ユニット名 内 容	到達目標 [コア・カリキュラム]
5月10日 (金) 3限	阿部 晶子 (予防歯科学)	ユニット4 幹細胞移植患者への口腔 ケア 造血細胞移植患者への口 腔ケアを理解する。	1. 造血細胞移植時に発症する口腔合併 症を列挙する。 2. 口腔合併症への予防法を説明する。 3. 造血移植チームにおける歯科医師の 役割を説明する。 [E-6-①～③]
5月17日 (金) 3限	吉田 亮 (ホテルメトロ ポリタン総支配 人)	ユニット5 接客とクレーム処理 良好な対人関係を築くた め、ホテルサービスを事 例として提示し、接客の 特性とサービスの満足 度、およびクレームの発 生メカニズムを習得す る。	1. 接客を定義し、その特性を述べる。 2. 事前期待と実績評価の関係を説明する。 3. サービス(接客)の満足度の決定要素を 列挙できる。 4. クレーム発生メカニズムとその原因 を分析し、対応策を述べる。 5. 実務上難しい取組と簡単な取組を説明 できる。 [A-4-2)-①～⑦]
5月24日 (金) 3限	二瓶直登 (東京大学大学院 農学生命科学研 究科准教授)	ユニット6 食品と放射能 放射能事故による人体へ の影響を正しく理解す るため、食品の放射線学 的安全性について修得す る。	1. 放射線被ばくに関する単位を列挙する。 2. 外部被曝と内部被曝の違いを述べる。 3. 身の回りの放射線について述べる。 4. 体内と食品中の自然放射性物質を列挙 する。 5. 食品の放射能に関する基準値の考え 方を説明する。 講義中にスマートフォン等を利用したク イズを行う。 [B-2-4)-①、②]
5月31日 (金) 3限	堀江 皓 (岩手大学名誉 教授)	ユニット7 産学連携による地域産業 おこし 産学連携による地域産業 おこしについて理解す る。	1. 我が国の産学連携の歴史について説 明する。 2. 産学連携機関とその役割について説 明する。 3. 産学連携の具体的手法と技術移転例 について説明する。 [A-8-1)-①～③]
9月13日 (金) 3限	James Hobbs 教授 (教養教育センタ ー外国語学科英語 分野)	ユニット8 医学／歯科の基本用語 (1) 基礎的な医学/歯科用語 を習得する。	1. 医学／歯科分野の基礎的な英語用語を 理解できる。 2. 医学／歯科用語の成り立ちと基本構造 を述べる。 [A-7-2)-①]
9月20日 (金) 1限	DTP 担当教員	ユニット9 医学／歯科の基本用語 (2) 基礎的な歯科用語を習得 する。	1. 医学／歯科分野の基礎的な英語用語を 理解できる。 2. DTP 分野に関連した歯科用語の成り立 ちと基本構造を述べる。 3. 言葉の持つ意味を深く考える態度を身 につける。 [A-7-2)-①]
10月10日 (木) 1限	TxAD 担当教員	ユニット10 医学／歯科の基本用語 (3) 基礎的な歯科用語を習得 する。	1. 医学／歯科分野の基礎的な英語用語を 理解できる。 2. TxAD 分野に関連した歯科用語の成り立 ちと基本構造を述べる。 [A-7-2)-①]

月 日	担当者	ユニット名 内 容	到達目標 [コア・カリキュラム]
10月18日 (金) 1限	TxAD 担当教員	ユニット 11 医学／歯科の基本用語 (4) 基礎的な歯科用語を習得する。	1. 医学／歯科分野の基礎的な英語用語を理解できる。 2. TxAD 分野に関連した歯科用語の成り立ちと基本構造を述べる。 3. 言葉の持つ意味を深く考える態度を身につける。 [A-7-2)-①]
2月10日(月) 1限	James Hobbs 教授 (教養教育センター外国語学科英語分野) 佐原資謹教授 (病態生理学分野) 間山寿代講師 (歯科矯正学分野)	ユニット 12 医学・歯学の基本用語／ 演習 1 (到達度評価試験)	1. 客観的な評価(到達度評価試験)を受け、達成度と理解度を知る。 2. 結果のフィードバックを受け、英語での理解度、コミュニケーション力の向上をはかる。

成績評価方法

1. ユニット 1～7 までは、各ユニットで提出したレポートで評価する。
2. ユニット 8～12 までは、英語到達度評価試験で評価する。
3. 本科目(医療リベラルアーツ)の評価は、前者(レポート)を 7/12、後者(英語到達度評価試験)を 5/12 の割合で算出し、総合評価点とする。
4. ユニット 1～7 で欠席した場合、あるいは期日内にレポート提出がない場合は、当該ユニットの評価を 0 とする。
5. 総合評価点が 65 点未満の学生には、全範囲(ユニット 1～12)を対象とする再試験を課す。

特記事項・その他

- ・スマートフォン等を利用したクイズを講義中に行う場合、指示に従いインターネットに接続できるように準備すること。
- ・ユニット 8～12 の専門英語に関しては、WebClass にテキストの音声ファイルを公開するので、活用すること。
- ・英語到達度評価試験により達成度と理解度を評価し、試験答案の返却(フィードバック)をおこなう。各々個人で、英語での理解度、コミュニケーション力の向上に努めること。